

製品名: サイクリンHウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02961**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.51mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 38 kDa; Observed MW: 38 kDa

抗原情報

遺伝子名	CCNH
別名	CCNH; Cyclin-H; MO15-associated protein; p34; p37
遺伝子 ID	902
SwissProt ID	P51946
免疫原	ヒトサイクリンHの合成ペプチド

背景

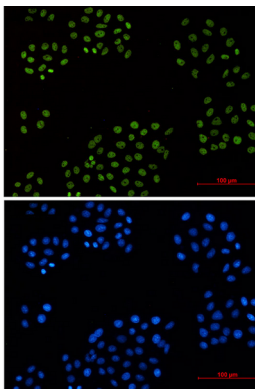
CDK活性化キナーゼ（CAK）酵素複合体の触媒サブユニットである CDK7 を制御します。CAK は、スレオニンリン酸化によってサイ

クリン関連キナーゼ CDK1、CDK2、CDK4、および CDK6 を活性化します。コア TFIIF 基底転写因子と複合体を形成した CAK は、その大サブユニット (POLR2A) の反復 C 末端ドメイン (CTD) のセリンリン酸化によって RNA ポリメラーゼ II を活性化し、プロモーターからの離脱と転写産物の伸長を可能にします。細胞周期制御および RNA ポリメラーゼ II による RNA 転写に関与しています。その発現と活性は細胞周期を通じて一定です。

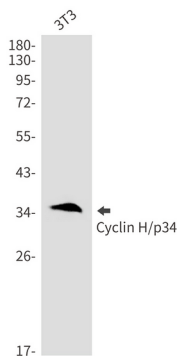
研究分野

細胞生物学

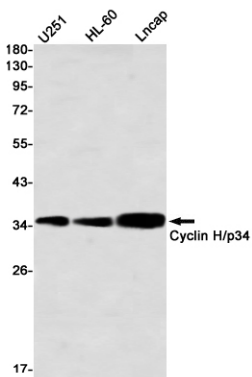
画像データ



Cyclin H 抗体と DAPI (青) を使用した HeLa 中の Cyclin H (緑) の免疫細胞化学分析。



Cyclin H/p34 抗体を使用した 3T3 溶解物中の Cyclin H/p34 のウェスタン プロット分析



U251、HL-60、Lncap ライセート中のサイクリン H/p34 抗体を用いたウェスタンプロット分析